

# 湛水土中(加パ-)直播栽培特報 第2号

令和3年5月  
富山市農業協同組合  
富山農林振センター

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

- ◎ 苗立後は、**浅水管理**を徹底し、初期分けつの確保に努めましょう。
- ◎ 5月下旬頃から茎数は急激に増加します。**溝掘りと中干しは遅れず**に実施しましょう。

## 1 出芽期以降の水管理

### ① 苗立後～6月上旬【浅水管理】

- 水深3cm前後の浅水管理（朝夕にかん水、日中は止め水）で生育を促進し、早期に分けつを確保しましょう。
- 表層剥離の見られる場合は、2日程度の田干しを行い田面を落ち着かせましょう。



中干し時期の圃場

### ② 5月下旬～6月上旬【溝掘り】

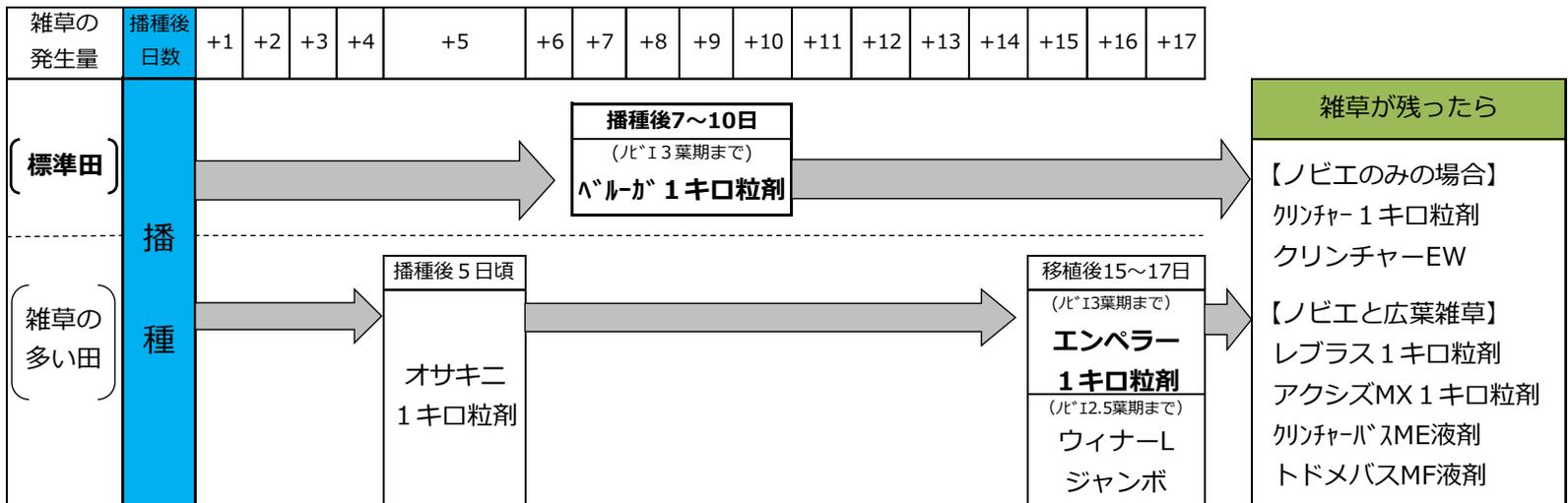
- 溝掘りは6月上旬までに必ず実施しましょう。
- ほ場への入排水の効率を高めるため10～15条に1本の割合で掘り、水尻としっかり連結しましょう。

### ③ 6月上旬【中干し開始】

- 1m間の茎数が100本程度になったら遅れず中干しを開始しましょう。
- 土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干しましょう。

## 2 雑草防除

※ 散布後5日間は確実に湛水状態を保ちましょう



## 3 葉いもち防除

- 葉いもちの発生を防止するため、予防粒剤を必ず散布しましょう。

散布時期	薬剤名	使用量	備考
6月10～15日 (中干し後)	オリゼメート 1キロ粒剤	1kg/10a	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない

春の農作業安全運動展開中 (5/31まで)